

令和4年度

学校評価結果報告書  
(年度末評価)

広島県立加計高等学校

# 目 次

- 1 令和4年度自己評価シート(年度末評価) (様式3) ……1
- 2 令和4年度学校関係者評価シート(年度末評価) (様式5) ……4

令和4年度自己評価シート(年度末評価)

|    |    |     |            |      |       |       |     |
|----|----|-----|------------|------|-------|-------|-----|
| 校番 | 20 | 学校名 | 広島県立加計高等学校 | 校長氏名 | 二川 一成 | 全・定・通 | 本・分 |
|----|----|-----|------------|------|-------|-------|-----|

1 中期(3年間)経営目標及び短期(本年度)経営目標

|  |            |      |       |      |
|--|------------|------|-------|------|
| 【中期(3年間)経営目標】<br>(1)基礎・基本を定着させ、進路目標を実現する。      | 評価         |      |       | 総合評価 |
|  | 1年目        | 2年目  | 3年目   |      |
|  | A          | A    |       |      |
| 【短期(本年度)経営目標】 ①生徒個々の資質・能力に応じた進路目標を早期に明確にさせる。進路 |            |      |       |      |
| 【評価指標】<br>1年次終了時の志望種別(大学・専門学校・就職など)決定者の割合      | 前年度<br>現状値 | 本年度  |       | 評価   |
|  |            | 目標値  | 実績値   |      |
|  | 100%       | 100% | 100%  |      |
| 【短期(本年度)経営目標】 ②家庭学習時間調査結果に基づき個別指導を行う。進路        |            |      |       |      |
| 【評価指標】<br>授業以外の1週間の学習時間                        | 前年度<br>現状値 | 本年度  |       | 評価   |
|  |            | 目標値  | 実績値   |      |
|  | 15.6時間     | 10時間 | 5.3時間 |      |
| 【短期(本年度)経営目標】 ③生徒会執行部を中心とした自治活動を推進する。生徒育成      |            |      |       |      |
| 【評価指標】<br>「ルールを守って生活できた」と答えた生徒の割合              | 前年度<br>現状値 | 本年度  |       | 評価   |
|  |            | 目標値  | 実績値   |      |
|  | 65%        | 65%  | 65%   |      |
| 【短期(本年度)経営目標】 ④国際交流に関わる活動を推進する。国際交流            |            |      |       |      |
| 【評価指標】<br>生徒が企画・運営した行事数                        | 前年度<br>現状値 | 本年度  |       | 評価   |
|  |            | 目標値  | 実績値   |      |
|  | 14         | 10   | 16    |      |

|   |            |       |       |      |
|---|------------|-------|-------|------|
| 【中期(3年間)経営目標】<br>(2)教職員の指導力の向上を図る。            | 評価         |       |       | 総合評価 |
|   | 1年目        | 2年目   | 3年目   |      |
|   | B          | A     |       |      |
| 【短期(本年度)経営目標】 ⑤「授業づくり」等を進め、指導力の向上を図る。教務       |            |       |       |      |
| 【評価指標】<br>授業参観の実施回数                           | 前年度<br>現状値 | 本年度   |       | 評価   |
|   |            | 目標値   | 実績値   |      |
|   | 2回/3学      | 各学期1回 | 各学期1回 |      |
| 【短期(本年度)経営目標】 ⑥業務分担の偏りを改善し、職員の時間外勤務を減少させる。管理職 |            |       |       |      |
| 【評価指標】<br>超過勤務時間45時間/月以下の職員の割合                | 前年度<br>現状値 | 本年度   |       | 評価   |
|   |            | 目標値   | 実績値   |      |
|   | 73%        | 70%   | 77%   |      |

|   |            |      |      |      |
|---|------------|------|------|------|
| 【中期(3年間)経営目標】<br>(3)地域に貢献できる人材を育成する。        | 評価         |      |      | 総合評価 |
|   | 1年目        | 2年目  | 3年目  |      |
|   | A          | A    |      |      |
| 【短期(本年度)経営目標】 ⑦探究活動の時間を活用し、地域との連携を深める。探究    |            |      |      |      |
| 【評価指標】<br>町への提案件数                           | 前年度<br>現状値 | 本年度  |      | 評価   |
|   |            | 目標値  | 実績値  |      |
|   | 5件         | 5件   | 5件   |      |
| 【短期(本年度)経営目標】 ⑧地域行事への参加等ボランティア活動を推進する。生徒育成  |            |      |      |      |
| 【評価指標】<br>ボランティアに参加している生徒の割合                | 前年度<br>現状値 | 本年度  |      | 評価   |
|   |            | 目標値  | 実績値  |      |
|   | 55%        | 70%  | 79%  |      |
| 【短期(本年度)経営目標】 ⑨学校の魅力を発信し、生徒募集につなげる。管理職・生徒募集 |            |      |      |      |
| 【評価指標】<br>入学定員充足率                           | 前年度<br>現状値 | 本年度  |      | 評価   |
|   |            | 目標値  | 実績値  |      |
|   | 100%       | 100% | 100% |      |

2 年度末評価のまとめ

|             |             |  |   |
|-------------|-------------|--|---|
| 評価結果の分析     | 中期(3年間)経営目標 | 成果   | <p>(1) 総合的探究の時間を中核として学年を超えた活動や地域等との交流により主体的に楽しく活動する雰囲気づくりはできている。また、地元以外からの志願者が順調に増加しており、相互に良い刺激を受けながら、教育活動ができている。</p> <p>(2) 授業について、オンラインや遠隔教育システムを活用して実施している。また、小中高と連携して「協調学習」の公開研究授業での授業参観を交流する機会が増えた。</p> <p>(3) 生徒を主体とした広報活動や地域からの支援により、学校全体が活性化している。地域との交流や小中との連携も進んでおり、令和4年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰を受賞した。</p> |
|             | 課題          | <p>(1) 生徒一人一人が多様な進路を目指しており、クラスの中でお互いのことを思いやり、その進路を認めていく指導が必要である。さらに、オーダーメイドの進路指導により、難関国私立大学にも進学できることを生徒にも理解させ、安易な道に流れるのではなく、志を高く持ちチャレンジしていく生徒の育成を図る。</p> <p>(2) 教員の指導力向上のために、今後ICTの活用や小中で行われている「協調学習」についての授業見学や公開授業研究を継続的に行う必要がある。特にICTの活用については、教員によって活用の個人差が大きい。</p> <p>(3) 業務改善の視点からも発展的な行事の見直しを行い、生徒の発表の場として、地元、県内、県外での活動を早期に立案・計画して、生徒や教職員が計画的に実施して行くことが必要である。</p>   |   |
|             | 成果          | <p>① 全学年個別面談を計画どおり行った。特に3年生の面談においては、これまで以上に志望校の絞り込みや一般選抜への見通しなど生徒個々の状況に食い込んだきめ細かな指導(オーダーメイドの進路指導)を実施できた。さらにスタディサブリの導入など個別最適な学習を促進する環境の整備を進めた。</p> <p>② オンラインによる学習時間調査を毎日行い、学習を最も頑張った生徒を月1回表彰してきた。学習に取り組もうとする意識や行動は3年生を中心に向上している実感がある。</p> <p>③ コロナ禍で多くの制約があったが、文化祭・体育祭等、執行部が中心となって生徒の積極的な活動を行う事ができた。</p> <p>④ 広島県内の大学で学ぶ留学生等を迎え交流を行った。海外からの来校者は70名を超え、オンラインでの交流は30名を超えた。さらに、3年ぶりにハワイの姉妹校への短期留学を実施したり、5年ぶりに韓国の姉妹校からの来客を迎えたり「おもてなし隊」を核とした活動は計画通りに進んでいる。</p> <p>⑤ 11月には、授業観察週間を設定し、全教職員が授業参観と研究授業を実施した。また、今年度から地元小・中学校への授業参観等を実施した。</p> <p>⑥ 超過勤務45時間/月以下の職員の割合は9月時点で74%から1月時点で77%に改善した。冬季休業中等の計画的な休暇の取得はできている。</p> <p>⑦ 昨年度からの継続商品や課題解決に向けての提案等、積極的に行うことができた。また、今年度はマルシェ活動を3回、新規の場所で開催することもできた。</p> <p>⑧ コロナにより地域での多くの行事が中止となり、厳しい活動状況が続いている中で、地域のボランティアに生徒達は積極的に参加し、その様子もHPでタイムリーに掲載できた。</p> <p>⑨ 生徒が中心となって地域みらい留学フェスタ、オープンスクール、中学校訪問、SNSによる情報発信など充実した取組ができている。その成果として、一次選抜での志願者が2.24倍(2/10時点)となり定員充足は確実に達成できる見通しである。</p> |   |
|             | 課題          | <p>① 国公立大学や難関私立大学への進学を希望する生徒に対して、3年間を見通した指導を推進していく必要がある。とりわけ基礎学力の定着に関して1年生からの学習習慣の定着を促す指導を一層強化する必要がある。</p> <p>② オンラインによる入力頻度が30%を下回る生徒が83%にも上っており、学習をしていても入力していない生徒が多数のため正確なデータが収集できていない。また、学習を頑張っている生徒が表彰を辞退するケースもあり、努力をすることを讃え合う雰囲気醸成されていない現状が集団としてのモチベーションの向上を妨げている可能性がある。</p> <p>③ 「蓄積と伝承」を合言葉に、先輩から後輩へのバトンの受け渡しを意識させる生徒間のディスカッションを継続していく必要がある。</p> <p>④ JICA及びJOCAなど、関係機関及び姉妹校等との連携をさらに密に行っていく。</p> <p>⑤ 今年度新たに地元小・中学校への授業参観等を取り入れたが、全員が参加することはできていない。主旨等を全教職員で共有し、今後も継続した取組となるようにしていきたい。また、教員数や多岐にわたる業務から、積極的・自主的な授業参観になかなかつながらない実情もある。</p> <p>⑥ 情報共有による組織的な指導を推進するために、教職員必携等の活用と校内の整理整頓による効率的な環境整備に努め、職員全員が業務改善に繋げて時間外勤務の縮減を進めていく。</p> <p>⑦ 今年度は新商品等の開発とはならず、昨年度の商品の継続にとどまっている。毎年新商品の開発とは、予算的にも時間的にもできない現状である。今後は既存の商品の販路拡大等行っていく必要がある。また、新商品等の開発には、より一層の外部との連携が必要とを感じる。</p> <p>⑧ 地域でのボランティア活動が再開できるようになるまで、校内でのボランティア意識を高めるため、探究活動等との連携を図り、生徒会を中心として意欲的な生徒の育成を図ることが課題である。</p> <p>⑨ メディアの積極的活用をしていく必要がある。</p>     |   |
| 短期(本年度)経営目標 |             |  |   |

|                              |   |
|------------------------------|---|
| <p>今後の改善方策</p>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オーダーメイドの進路指導を組織的に行うことにより地元の加計高校でも難関国私立大学にも進学できることを生徒・保護者に認識してもらい、安易な道に流れるのではなく、志を高く持ちチャレンジしていく生徒の育成を図る。</li> <li>・地域コーディネーターとの連携を強化し、加計高校の生徒主体の取組や国際交流地域連携・貢献など特色ある学びを深化・継続できるように取り組む。また、これらの取組をメディアにも積極的に発信する。</li> <li>・ICTの活用や小中で行われている協調学習についての授業見学や公開授業研究を定着させる。</li> <li>・教職員必携を活用して情報共有による組織的な指導を推進する。さらに、行事の見直し、精選、融合など業務改善に繋げて時間外勤務の縮減を進めていく。</li> </ul> |
| <p>学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方策</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・志を高く持ちチャレンジする生徒を育成するオーダーメイドの進路指導を推進する。具体的な方策としては、スタディサプリを導入して、基礎から発展まで個別に主体的に対応できる環境を作り、教員だけでなく、公営塾とも連携して生徒一人一人のモチベーションが高まる指導を実施する。</li> <li>・国際交流の取組において、海外からの留学生等の交流において地元の小・中学校も巻き込んだ取組を実施する。このことにより、地元小中学生のモチベーションも高めるとともに、さらなる学校の活性化や地元中学生の入学率向上を図る。</li> </ul>  |

# 令和4年度学校関係者評価シート(年度末評価)

令和5年3月 日

|    |    |     |            |      |       |       |     |
|----|----|-----|------------|------|-------|-------|-----|
| 校番 | 20 | 学校名 | 広島県立加計高等学校 | 校長氏名 | 二川 一成 | 全・定・通 | 本・分 |
|----|----|-----|------------|------|-------|-------|-----|

| 評価項目             | 評価 | 理由・意見   |
|------------------|----|---|
| 目標、指標、計画等の設定の適切さ | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒のレベルに合った目標等が設定されており、その設定は適切である。</li> <li>・ 中期3年間を見据えた目標、指標、計画となっている。</li> <li>・ 1週間の学習時間についてはもう少し伸びていくことに期待します。</li> </ul>   |
| 計画の進捗状況の評価の適切さ   | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画の進捗状況を適格に分析した適切な評価がなされている。</li> <li>・ 前年度の現状値を踏まえ、年間の進捗状況を見込んでおり現実的で良い。</li> <li>・ 実績を上げられており適切だと思います。</li> </ul>  |
| 目標達成に向けた取組の適切さ   | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒と先生が設定した目標に向かって一丸となって取り組んでいることが伺える。</li> <li>・ 学校全体の取組として継続できていることが素晴らしい。</li> </ul>   |
| 評価結果の分析の適切さ      | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目標達成評価の分析は適切に行われている。</li> <li>・ 成果だけでなく課題についても詳しく分析されている。</li> </ul>   |
| 今後の改善方策の適切さ      | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定した目標達成評価に基づき、今後の方針が適切に行われている。</li> <li>・ ICT活用と小中の協調学習の繋がりを継続されたい。</li> <li>・ 高校だけの取組になってしまわないよう小学校、中学校も頑張っていきます。その視点も入れていただけるとありがたいです。</li> </ul>   |
| 総合評価             | A  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ過にあって先生と生徒が一丸となって目標達成に向けて努力していることが伺える。今後もそれぞれの立場での役割を果たしてすばらしい学校にできると思う。</li> <li>・ 進学において国公立への合格は素晴らしい。</li> <li>・ 商品開発と販路拡大は外部との連携が必須だと思います。</li> <li>・ 加計高校の素晴らしい取組を町内の方も大変喜んでおられると思います。継続していかれるようよろしくお願いします。</li> </ul> |